

日本ツクリダス 株式会社

加工と生産管理システム
提案で製造業を支える

納期相談
企画力
自信有
コスト
相談
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット



社内の各部署が進捗を確認できる現場

主な事業内容

各種金属加工、生産管理システム開発・販売、
HPデザイン・制作一式

主な取引先(納入先)

機械部品メーカー、
鍛造金型メーカー、その他

主な製品

金属加工部品、
生産管理システム

業務
内容

特急対応専用ラインで
短納期にも対応

日本ツクリダスは、町工場でありIT企業でもあるユニークな企業だ。旋盤・フライス加工による特急対応専用ラインを持ち、短納期に対応するほか、協力会社との連携によって板金やめっき、熱処理など幅広い加工を一貫で受注する。納期をきっちり守る会社として顧客の信頼を獲得する一方、自社の生産管理のデジタル化で苦勞した経験をもとに、町工場が使いやすい生産管理システムを自ら開発。外販に乗り出し、IT企業としての顔を持つ。Webサイト作成や販促ツールのデザインなども手がけ、事業が多様化した自社を、角野嘉一社長は「ものづくりサービス業」と称し、独自の成長路線を進んでいる。

強み

町工場が作った
町工場のためのシステム

角野社長が考える生産管理は、計画・進捗・分析の三つのフェーズに分かれる。一方、同社製システム「エムネットくらうど」は進捗管理に特化し、かつクラウド型にすることで、シンプル・低コストにした。バーコードで納期・進捗を管理するが、システム上で計画は

策定しない。少人数の町工場は毎日がイレギュラーの連続。このため、システムには納期や工程など必要最小限の情報を入れ、現場が考えて計画を調整する仕組みづくりを志向した。現在、多くの中小企業にとってDX化は課題となっている。それでも、角野社長は「崖を登ってはいけない。ミニマムステップで階段を上るべき」と着実な歩みを推奨。この考えは同システムの思想となっている。

乗果
相効

システム導入の伸びが
加工の強さにもつながる

「エムネットくらうど」は、町工場が導入しやすく、使いやすい利点が認識され、導入企業が130社に上る。この伸びが、加工事業にも好影響を与えている。システム導入企業のうち部品加工に関連する多くの企業が同社の協力企業になり、対応可能な加工の種類や量が拡大するからだ。部品加工業界は、品質とコストだけでなく、納期を含めた3要素のトータルで選別される。納期・進捗管理の水準が担保されたシステムユーザーのネットワークは強みとなる。「町工場の結び付きをもっと強めたい」。角野社長はこのネットワークを広域化し、ものづくりの連合をめざすという。

社長あいさつ



代表取締役
角野 嘉一さん

日本ツクリダスは金属加工の町工場でありながら、「ものづくりサービス企業」として、生産管理システムやデザイン制作、コンサルティングなどを手がけています。顧客のビジネスを広げ、利益向上のお手伝いをするのが私たちの仕事。日々新しいビジネスやサービスをつくり続けます。

主な保有設備

- NC旋盤 LB-3000 EXほか
オークマ製ほか 5台
- NCフライス盤 YZ-8WRほか
山崎技研製ほか 3台
- ボール盤 KUD-550ほか
紀和鉄工所製ほか 3台
- 三次元測定機 XM-1600ほか
キーエンス製ほか 2台

大阪
04

住 所 / 〒590-0106
堺市南区
豊田1540-2
T E L / 072-290-2223
F A X / 072-290-2225
創 業 / 平成21年5月
設 立 / 平成25年3月
資本金 / 333万円
従業員 / 24名



「エムネットくらうど」使用イメージ



製造する加工品



<https://www.netkojo.jp/>